

# かみふら 議会だより



No. 59

2008.7.25発行

題字 上富良野中学校 書道部 3年 中田 花奈



盛況だったビール早飲み



気分爽快 十勝岳山開き



厳粛の中での駐屯地創立記念



地元産豚肉の駅弁が大好評

## 夏・夏・夏!!

### 主な記事

- 第5次上富良野町総合計画基本構想..... 2 P
- 「今後のまちづくりについて」など4議員が一般質問..... 5 P
- もっと知りたいまちのこと No.4「わが町の自衛隊I」..... 9 P

## 6月定例会

# 第2回定例会開催される

第2回定例会が6月17日18日の2日間開催されました。  
本定例会では、補正予算、条例の改正、付託案件の報告、第5次上富良野町総合計画基本構想などが議決され、その他、意見書の提出などが発議されました。



## 第5次上富良野町総合計画基本構想

わが町の次の10年間を決める第5次上富良野町総合計画の、基本計画や実施計画の礎となる基本構想が11対2で原案のとおり可決されました。

### 「質疑」から

**問** 基本構想における攻めの姿勢はどこに出ているのか。  
**答** 基本構想であるので基本計画、実施計画を策定する時が大切である。

**問** 行政としてのリーダーシップはどう取って行くのか。  
**答** 今までのような行政主導では協働のまちづくりにはならない。

**問** 第4次総合計画での住民の生活や文化の程度ははどうだったか。  
**答** 第4次で高まった気運を、引き続き第5次でも継続していきたい。

## 麻しん・風しん予防接種費助成

797万5千円補正

町内において、5月、6月に合わせて10名の麻しん（はしか）患者が発症した事により、児童生徒の免疫力を向上、蔓延・罹患の予防及び臨時休校の回避、医療費の増加を防ぐため、当初5カ年で計画していた予防接種費の助成を前倒しで行うものです。対象となる児童生徒数は、小学3年生から高校3年生までの町内の児童生徒893名です。通常1回8千930円かかる予防接種費用の自己負担を無料とするために、全額助成するもので、予備費から充当して79万5千円の補正予算となりました。



予防接種が行われた

## 平成20年度各会計補正予算可決

平成20年度一般会計、他各6会計の補正予算が可決されました。

これは平成19年度における国や道からの補助金や事業費の決定に伴い、繰越金などの確定によって平成20年度一般会計予算に4千956万4千円の増額補正をして、予算総額72億156万4千円となりました。各会計ごとの補正額及び予算は次の表のとおりです。

平成20年度各会計補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	4,956万4	72億 156万4
国民健康保険特別会計	6,215万2	14億5,570万5
介護保険会計	2,047万9	6億8,973万9
簡易水道特別会計	181万3	1億 367万2
公共下水道特別会計	169万4	6億4,454万6
ラベンダーハイツ特別会計	696万4	2億8,576万4
病院事業会計	618万0	8億6,192万2

## 乳幼児等の医療費助成拡大

「上富良野町重度心身障害者及びひとり親等家庭の医療費の助成に関する条例及び上富良野町乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決しました。

道の医療給付対象者の改正で重度精神障害者も対象となったこと、また、児童の入院医療費の助成が小学校卒業時まで拡大しました。

## 討論が行われました

### 反対 1

乳幼児の医療費の負担軽減という点では評価するが、国民は等しく社会保障の恩恵を受けなければならないという点で、所得制限や、初診時の一部負担をなくすことについて3年間の限定であるので、この条例に反対する。

### 賛成 12

小学生までの入院費の助成で北海道と連携し追加実施すること、3歳未満児の一部負担金を無料とすることで、3歳未満児全員の医療費が無料化される。町民税非課税世帯の幼児にあっては、就学前まで無料とする提案であり、町財政が厳しい中において、子育て支援に取り組む姿勢を大いに評価し賛成する。

## パークゴルフ場の開設期間を拡大

「上富良野町パークゴルフ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決しました。

従来の開設期間は4月29日から11月3日となっていたが、近年、融雪が早まったり、降雪が遅くなっていることから、期間の拡大をするともに、その利用料金を定め、パークゴルフの普及促進と利用拡大を図るため改正されました。



開設期間が拡大された

## 町営バスの片道定期券を発行

「上富良野町乗合自動車の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」

「上富良野町スクールバス条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決しました。

これは、高校生が部活動で往路しか町営バスを利用できず、往復定期券の利用がないため、新たに片道定期券を設置し、利用の促進を図るために改正されました。

## 住民基本台帳カードを無料化

「上富良野町手数料条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決しました。

戸籍抄本等の交付請求の厳格化と、住民基本台帳カードの普及を促進するため、交付手数料を3年間無料にするものです。

## 町立病院に眼科を開設

「上富良野町立病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決しました。

富良野協会病院との病病連携によるもので、泌尿器科、循環器科に続き、眼科を7月1日から開設するものです。診療は当分の間、月2回、隔週で金曜日の午後、10名の予約制となります。

## 看護師等の修学資金を増額

「上富良野町看護師等養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決しました。

町立病院が安定した経営をするためには看護師の確保が重要であり、現行の条例は平成4年に制定されたもので、昨今の経済事情を考慮し増額されました。

平成20年第1回定例会付託

富良野広域連合の設置について

富良野広域連合調査特別委員会は平成20年3月に設置され、3回の委員会を開催し議案の審議を重ねた結果、次のとおり決定し本議会に提案しました。

教育委員会の意見も参考にして慎重に審議した結果、事務処理の統合により事務運営が効率化され、経費削減や今後における施設整備の投資費の抑制も見込まれ、自立した基礎自治体として存続するためには、広域行政も必要であると判断し、賛成多数で可決しました。

討論が行われました

反対 1

市町村合併に向けた選択肢の通過点と認識している自治体があり、負担金については人口が少ない自治体ほど負担が大きくなる。また、給食業務は関係者の理解がまだ得られていないと考

える。議会のチェック機能を考えて、議員定数15名(各市町村から3名)は少ないと考

賛成 12

え。自立した基礎自治体を目指すため「し尿・生ゴミ処理」「広域牧場」「消防」「学校給食」の4事務を統合することで、円滑な組織運営や効率化による経費の削減が図られ、さらなる住民サービスの向上や人口減少に伴う今後の整備費も抑制できるので賛成する。

平成20年第1回定例会付託

「上富良野町の基金に伴う関係条例の整備に関する条例」の一部を修正して可決

修正して可決

上富良野町の基金に伴う関係条例の整備に関する条例は、第1回定例会で総務産建常任委員会に付託され、4回の委員会を開催し、審議を重ねた結果、財政調整基金、公共施設整備基金、十勝岳地区振興基金、国民健康保険財政調整基金については「議

臨時会

第1回 臨時会 から

畜産担い手育成総合整備事業再編整備型事業)1億790万9千円の委託契約締結について可決

畜産担い手育成総合整備事業の施設整備事業実施要綱により設置する施設の譲渡契約で追加額19億5千121

万6千円について可決

戸籍事務情報システム整備事業の譲渡取得額892万5千円について可決

平成19年度一般会計補正予算の承認(単位:千円)

補正額	補正後の額
7,877万7	64億8,132万3

第2回 臨時会 から

上富良野町老人保健特別会計について、繰出金などによる補正額3千291万7千円を可決

上富良野町国民健康保険条例の一部を改正する条例について可決。

後期高齢者医療制度の創設に伴い減免規定など新たに発生する事業に考慮した内容を原案どおり可決。

質疑から

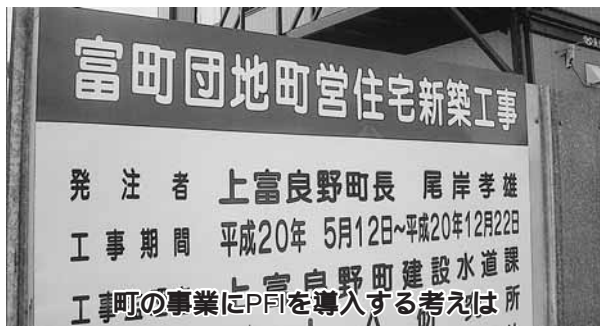
問

あえて「議会の議決を得て」という項目を入れなくてもいいのでは。

答

基金の重要性を考え慎重に審議する必要がある。

会の議決の規定」を残すこととし、原案の一部を修正して議決すべきと結論が出され、本議会において賛成多数で可決されました。



## 今後のまちづくりにPFIの導入を 対象となり得る事業を含め検討する



村上 議員

**村上** 財政状況が厳しい中、事業手法の一つとしてPFI(注)というのがあり、この手法を用いれば、従来国や地方公共団体が行ってきた公共施設の設計、建設、維持管理に民間の資金や経営能力、技術などのノウハウを活用することができ、経費も削減され、民間事業者が新規参入するチャンスが広がり、新たな事業機会が創出され地域経済の活性化も期待される。

**町長** これからのまちづくり（第5次総合計画）においてPFIの手法を取り入れる考えは、住民に対し質の高い公

共サービスを提供する事業手法で、PFIの活用は官のリスクコストを削減するとともに、民の利益を生み出す関係を構築することが大切である。今のところ町が展開する事業の中では見出せないというのが現状である。しかし、複数の自治体により共同整備、共同運営で施設を集約化し、一定程度の事業規模を確保することなどでPFI事業の導入の可能性も考えられる。

次期総合計画において官も民もよしといったものが選択できる状況があれば、たとえ小学校であろうと法的に許されるのであれば、その手法をとっていく。民の力を借りて民の活性化、地域の活性化になるということについては前向きに検討していく。

## 子育て支援班を教育委員会へ移管しては 移管は考えていない

**村上** 幼稚園、保育所（園）と小学校の連携をより強化するために、現在保健福祉課にある子育て支援班を、教育委

## 東アジア・中国等の観光客招聘事業の取組みは わが町はもとより広域の観光振興に努めたい

**村上** 富良野・美瑛広域で東アジア、中国上海をターゲットに観光客の招聘事業をスタートしていこうということで、町長以下産業界の代表が上海を訪問されたが、今後においてどのような計画を考え



ているのか。また、何年からの計画なのか。

町民としても外国人観光客を受け入れるマナー、おもてなしの心などが必要と考えるが、こういった指導とPRについて、どのようにお考えか。

**町長** 上海在住の上富良野観光大使 王 思椒氏の仲介のもと、関係機関の代表者と共に上海を訪問しトップセールスを行った結果、7月下旬に月刊誌・週刊誌の記者2名が上富良野を拠点に観光名所取材することで調整中である。この計画は3年間、10月初旬に上海メディアのテレビ局長などを招致し、上富良野のPRを進める。上富良野高校との交流については、教育委員会と調整していく。

地域を挙げてのおもてなしの対応等も含め、関係機関、特に観光協会の皆さん方の対応を図っていくよう取り進める。

員会に移管してはどうか。

**町長** 学校側と連携を取っており、教育委員会へ移管することは考えていない。

(注) PFI：公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金・経営能力及び技術的能力を活用する手法



佐川議員

### 幼児・児童が自転車に乗るときのヘルメットの助成を保護者の責任で助成は考えていない

**佐川** 平成20年6月1日道路交通法が改正施行され、保護者がお子様を自転車に乗せたり、幼児・児童が自転車に乗る際にヘルメットをかぶることが努力義務とされたが、全町挙げて輪禍死ゼロ2000日を目指す町としての施策は、また、交通事故撲滅や交通安全推進のための関係機関の日々のご努力を思い、「交通事故から子供を守る」という意識を目に見えるかたちで町民に示す策は、

全道一位の出生率を2%にしたいと願う町長の気持ちを、ストレートに伝える事ができ、また、啓蒙の立場からも旗なごより交通安全の大切さを理解してもらえらと思うが、育ち盛りの子供が二三人いる家庭では、物価の高騰や給食や税金・ガソリンの値上げなど出費がかさんで追い討ちがかかり、将来を担う子供を育てている若い世代にエールを送る意味においても必要だと考えるが町長の考えは、チャイルドシートの時とは社会情勢も刻々と変化し、現在は地球温暖化や健康ブームで自転車の利用が見直され、子供や保護者の関心も高まってきているがどのように捉え



ているのか。財政難だからこそ少しでも千円とか千五百円とか、最初は希望者のみとか段階を踏んで数年ごとに組み立てるなど色々な方法を考えて、今後において検討し進める考えはないのか伺いたい。

**町長** ヘルメットは比較的安全でありチャイルドシートの時の対応など総合的に判断し、助成は考えていないが、町民の皆さんの交通安全の認識を深めていただくよう努力していく。町として他の自治体に劣らない子育て支援を講じており、重要性、緊急性、必要度等を考慮し判断していく。

### 地球温暖化対策制度の推進状況は平成21年度を目途に策定したい

**佐川** 地方自治体も温暖化対策が義務付けられている。昨年12月の定例会でも質問させていたのだがその後、町ではどのような対策に着手しているのか。第5次総合計画の基本構想にどのように位置付け、組み込むのか。また、その概略についてどう考えているのか。

地球温暖化対策を、いかに考え学習し、防止策を立てるのか、それは気象のみならず生態系への影響、水不足、農業への打撃、感染症の増加、災害の激化など経済や社会活動に悪影響が複合的に生じる可能性も含め考える必要がある、とても重要なことと、期待している。

全道180市町村中、62市町村が5月31日付けで策定済みとなっており、温暖化教育に地域格差の生じないようにするための考えを伺いたい。



**町長** 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条で自治体の温暖化対策の策定の義務化が示されている。

第5次総合計画の基本構想には精神論で載せており、別項目でおさえてはいない。

平成21年度中を目途に計画をつくり、住民の皆さんや事業主の皆さんと行政が一丸となって対応できる計画案を策定していきたい。



米 沢 議 員

## 農村宿泊型体験観光受入窓口の強化を 農業・商工業・観光業と連携した中で 窓口の対応をしたい

**米沢** 農家などに泊まり農作業を体験してもらう、体験型の観光が流れとなってきたているが、町としての受入れ体制について伺いたい。

**町長** 農業は、農業・農村を取り巻く環境の変化により、転換期を迎えている。一方で、食の安全や環境への関心の高まり、ライフスタイルの多様化などを背景としたグリーンツーリズムが注目を集めている。

本町での宿泊農業体験の受入れ施設については、まだ日が浅いこともあって1軒の農家の開業にとどまっているが、



体験観光を受け入れている農園

これからは、グリーンツーリズムに関心を持たれている方々に対して、JAなどの関係機関と連携しながら、情報提供に努めたい。

## 乳幼児の体の健康を守るためにも小児科 診療科目の設置を

富良野協会病院の小児科・産婦人科医の  
充実が図られた時点で検討したい

**米沢** 町の子育て支援策としても、小児科の診療科目の設置の対応について伺いたい。

**町長** 小児科医の医師は全国的にも不足しており、医師の負担軽減を図るために小児科医の集約化が行われており、常勤、非常勤医も含めて、小児科を開設することは難しいと考える。

今後、富良野協会病院の小児科・産婦人科医師の充実が図られた時点において、対応について十分煮詰めていきたい。



小児科の設置がのぞまれる

## 個人住宅のリフォーム助成事業の実現を 住民からの要望があれば検討したい

**米沢** 建築工事の需要を掘り起こすためにも、個人住宅のリフォーム時における助成事業は必要と考えるが、今後の対応について伺いたい。

**町長** 公共事業の減少により、地元土木建築業者の衰退の傾向は歪めない状況にあるが、

町民生活の面では、住居の営繕など地元で密着した事業者は欠かせない要素である。  
新たな建築事業の喚起と、雇用の場の創出にも期待できる制度と考えており、町民の要望の高まりに対しては、十分検討していきたい。

### その他の質問

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| Q | 介護認定者への障害者税控除の周知について      |
| A | 介護認定通知とあわせて個別のお知らせも対応したい  |
| Q | たんぼの会が運営している中茶屋について       |
| A | 行政として今後も支援したい             |
| Q | レジ袋削減の取組みについて             |
| A | レジ袋削減の取組みが広がるような啓蒙活動を進めたい |



中 村 議 員

日の出公園臨時駐車場借地料は150万円の負担継続より買収する考えは観光協会等の関係者と協議をし将来の規模等を考慮し検討したい

**中村** 上富良野町の観光事業の一大イベントとして昭和57年より「ラベンダーまつり」が開催され、現在は「花と炎の四季彩まつり」となっており、実地されてきている。

まつりの来場者対策とあわせ、その他のイベント関係として、「臨時駐車場」が昭和62年度より民有地を借上げ、その借地料は、平成20年度分を含めると、2千802万8千円と大きな金額である。

昭和62年度より平成12年度までは観光協会が駐車料の収

入より用地借上料を支払っていたが、観光客からの苦情等によって駐車場を無料化したことにより、平成13年度から町が用地借上料を年間150万円負担し、今日に至っている。

今後の当町の観光事業、各種イベントを含めて日の出公園が中心となることから、駐車場確保が前提である。

現在、町の土地開発公社は一定の責務を終えているので解散してはと公社の総会で多数意見があり、土地開発公社の基金残額は5千300万円ある

ので、それにより日の出公園駐車場を買収することについて、積極的に検討すべきと考えるが、町長の所見を伺いたい。

**町長** 駐車場についてはイベントの折には欠くことのできないものと認識しているが、利用状況、面積、通年等を含め、観光協会やイベント実行委員会等の関係機関に意見を求めているので、その関係機関からの意見書を見極めた中で、購入するかどうか判断したい。



昭和62年から借地している日の出公園臨時駐車場

旧清富小学校体験学習池 中止後の対策は 生息観察は困難と判断し 関係者と早急に協議を進める

**中村** 清富小学校に平成15年度にカワシンジュガイ保護養殖池が太陽北海道地域づくり財団より105万円の助成と町費51万2千400円で設置。平成16年度に生息観察のためとして、屋根付小屋が北海道新聞野生生物基金より80万円の助成とカワシンジュガイを守る会20万円の負担で設置されたが、清富小学校は平成18年3月末で閉校になり、そのときには9個確認されたが、平成19年5月には生息数ゼロとなり、自然体験学習池は中止となったが、助成団体関係への処置と今後の施設管理について伺いたい。

**教育長** 自然体験学習池での生息観察は困難と判断し、地域住民や関係団体と早急に協議をし、結論が出るまで清掃草刈等は実施する。助成、補助された財団等には事情説明に努める。



旧清富小学校にあるカワシンジュガイ観察の自然体験学習池



# もっと知りたい まちのこと

No.4

『わが町の自衛隊Ⅰ』

今回の「もっと知りたい まちのこと」は、わが町の自衛隊について、町民の皆様を上富良野駐屯地をより深く理解してほしいと思い調査しました。上富良野町は農業・商工業そして自衛隊の町であります。

今から五十数年前に自衛隊が移駐以来、地域と共存共栄を図り今日の駐屯地があります。地域住民に大切にされていることは全国でも有数と聞いております。

しかし、駐屯地あるいは駐屯部隊を知っているようで実際には、あまり知られていないのも現実ではないでしょうか。



第28代 徳川駐屯地司令(1等陸佐)

## 上富良野駐屯地のあゆみ

上富良野駐屯地は、昭和25年、当時警察予備隊総体総監であった林 敬三氏が道央に演習場適地を求め空中視察をしたところ、十勝岳山麓に広大な原野を発見、それが発端となり演習場及び駐屯地の設置が決定しました。その後、隊舎の建設などの開庁準備が進められ、昭和30年9月、第2特科連隊(現在旭川に駐屯)を基本部隊として歴史の一步を刻みました。この頃植えた白樺の幼木も、今では立派な並木となり駐屯地の成長と歳月の流れを物語っています。

## 徳川駐屯地司令から一言

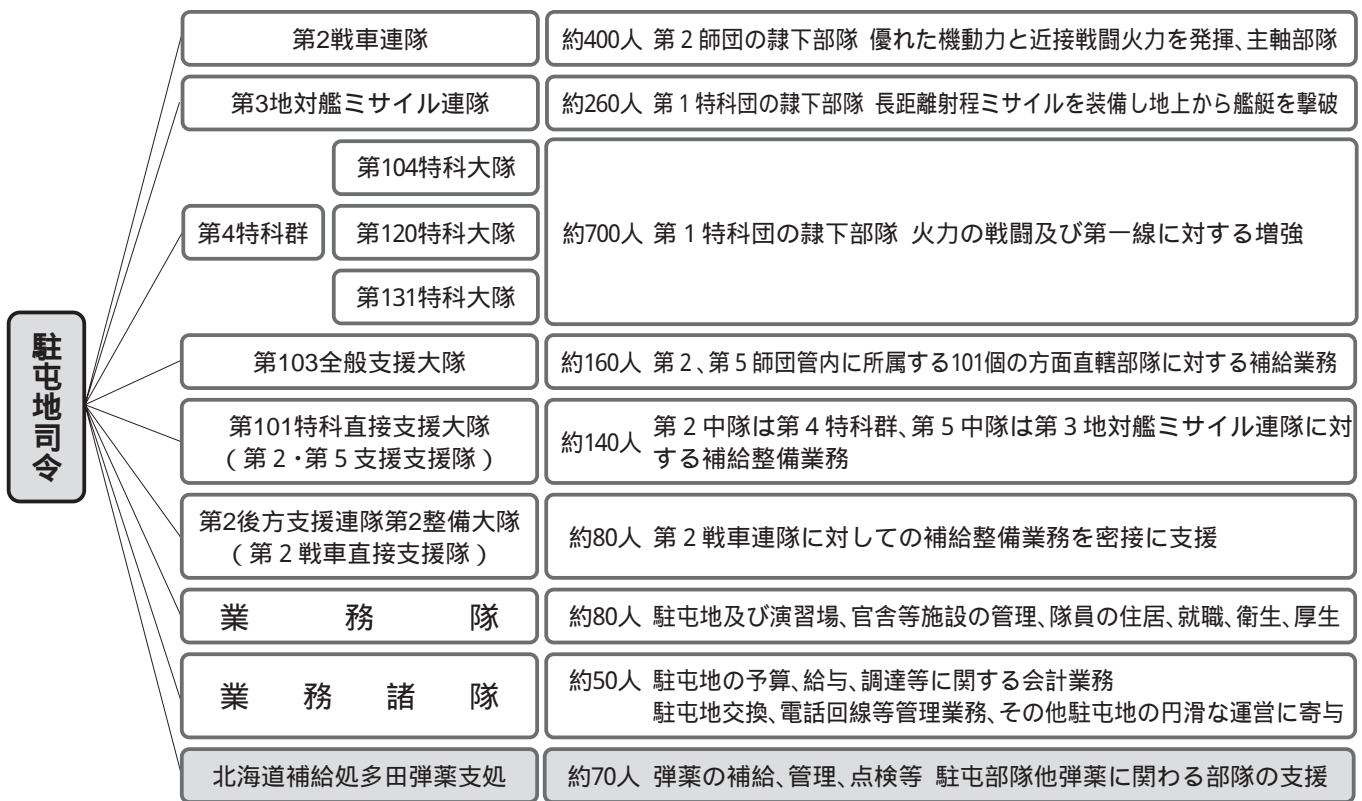
上富良野駐屯地は、昭和30年9月、第2特科連隊等の移駐によって歴史が始まり、地域の皆様と一体となり発展を続け、現在では14個部隊、人員約2千名を擁する、北海道の中でも有数の駐屯地の一つに成長いたしました。装備は我が国の技術力を駆使し、世界に誇る性能を有する90式戦車等、陸上自衛隊のかなめとなる重戦力を擁するとともに、全国第2の規模を誇る多田弾薬支処が所在し、当駐屯地は北海道の中心、北の守りの戦略的要所として、確固たる地位を築いてまいりました。駐屯地では、平成19年8月の新潟中越地震に女性自衛官2名、同年9月の十勝岳付近における行方不明者の捜索に第2戦車連隊から15名、同年11月の上ホロカメツトク山付近における雪崩による行方不明者の捜索には、第4特科群から83名の災害派遣を実施しましたが、マスコミに大きく報じられたことから、皆様もよくご存じのことと思います。駐屯地は、地域社会との共存共栄を目標に掲げ、地域の安全に貢献することによって皆様の期待にこたえてまいりたいと考えております。駐屯地隊員一人一人が上富良野町民皆様の支えを誇りに思い、今一度身を引き締め、「信頼される駐屯地」から「尊敬される駐屯地」へと、全員一丸となって邁進する所存でありますので、今後とも変わらぬご支援・ご協力の程お願いいたします。

### 上富良野駐屯地の概要

上富良野駐屯地は、地域とともに50年を超える長い年月を歩んできました。

北方防衛の重要拠点として、第2師団の中規模演習場と大規模な多田弾薬庫を有しています。上富良野駐屯地は、駐屯地と多田分屯地を総称したもので、約2千名の隊員からなり、男性約1千940名、女性約60名が勤務しています。道内においては28個駐屯地の6番目にあたります。駐屯地の面積は55万平方メートル、札幌ドーム4個分の広さがあり、道内においては14番目の敷地面積となっています。多田分屯地は、上富良野演習場の西側に位置し、弾薬庫は全国第2位の弾薬保有能力を持ちます。また、演習場の面積は、約4千万平方メートルで道内3番目に大きく、年間を通じて約30万人以上の様々な部隊の隊員が、演習を行っています。

### 上富良野駐屯地の組織図



### 陸上自衛官の階級と階級章

階級	幹部									准尉	曹士						
	将官		佐官			尉官			曹			士					
呼将	陸将	陸将補	1等陸佐	2等陸佐	3等陸佐	1等陸尉	2等陸尉	3等陸尉	准陸尉	陸曹長	1等陸曹	2等陸曹	3等陸曹	陸士長	1等陸士	2等陸士	3等陸士
階級章	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

わが町にとって自衛隊は大きな存在！

町税収 約10億円

隊員家族の納税額  
約2.5億円  
【約25%】



町民家計消費  
約136億円

隊員家族の消費額  
約40億円  
【約30%】

町民税 約4.7億円

隊員家族の町民税  
約2億円  
【約40%】

隊員の年間給与総額  
約100億円  
町の予算 約70億円  
(一般会計)

新築住宅の件数  
(過去5カ年)  
170件

隊員の  
新築住宅  
50件  
【約30%】

富良野地方 6 市町村入隊者

年度	入隊者数	町内者
H16	33	21
H17	45	25
H18	42	17
H19	43	21
H20	44	21
合計	207	105

入隊者の半数が町内者であり、地域の大きな雇用の場となっています。  
町内の児童・生徒約1,000人の内、隊員家族の児童・生徒は約400人と40%をしめています。

町の人口に対する自衛隊関係者の割合

隊員数  
約2,000人  
(町内在住者  
約1,500人)

男性隊員  
約1,940人  
女性隊員  
約60人

町民  
約12,200人  
隊員・OB家族の人数  
約4,750人(町民の39%)

家族を含む  
町内者  
約3,550人

OB家族を  
含む町内者  
約1,200人

(平成20年6月末現在)

今回、わが町の自衛隊を取り上げてみました。自衛隊員家族の人口割合が自衛隊退職者家族を含めると町民の約39%に、町民税においては約45%にもなっていることがわかり、改めて自衛隊の存在の大きさを感じました。次回は、「国民の生命と財産」を守る自衛隊の職務について、地域の災害支援や海外派遣活動などに触れてみたいと思います。

今回、わが町の自衛隊を取り上げてみました。



僕は未来の操縦士！

# 議会の“窓”

## 全道町村議会議員研修会・沼田町視察



沼田町にて視察調査

7月1日、2日の二日間、議員全員による視察研修を行いました。1日は、札幌コンベンションセンターで開催された、北海道町村議会議長会が主催する全道議員研修会に参加し、朝日新聞編集委員の坪井ゆづる氏から、「分権改革と地方議会のこれから」について、政治評論家の三宅久之氏から「混迷する政局と日本の進路」をテーマに講演を受けました。テレビでおなじみの三宅氏は、原油価格・穀物の高騰と世界的な食糧危機の状況については日本の食料自給率を上げるべきである、人口減少問題は若者の収入を増やして結婚できる環境をつくること、解決方法である等と福田政権の今後について、講話をされました。



三宅久之氏による講演

2日は、町議会独自の研修として、沼田町を視察し、雪を冷房に利用している「雪山センタープロジェクト」の各施設（雪の科学館・米の貯蔵施設等）の視察調査を行いました。

### 議会の動き

- 【4月】
- 10日 総務産建常任委員会
- 富良野広域連合調査特別委員会
- 14日 議会広報特別委員会
- 【5月】
- 12日 第1回臨時会
- 総務産建常任委員会
- 厚生文教常任委員会
- 議員協議会
- 13日 富良野広域中内草地組合議会
- 14日 第2回臨時会
- 23日 議会運営委員会
- 富良野広域連合調査特別委員会
- 30日 総務産建常任委員会
- 厚生文教常任委員会
- 議会運営委員会
- 【6月】
- 3日 厚生文教常任委員会
- 総務産建常任委員会
- 6日 富良野広域連合調査特別委員会
- 9日 議会運営委員会
- 11日 議会広報特別委員会
- 議員協議会
- 17日 第2回定例会（1日目）
- 18日 第2回定例会（2日目）
- 議会広報特別委員会
- 26日 議会広報特別委員会
- 【7月】
- 7日 第3回臨時会
- 議員協議会
- 議会広報特別委員会
- 8日 富良野猪苗代町議会視察来町
- 9日 静岡県長泉町議会視察来町
- 新潟県燕市議会視察来町
- 14日 議会広報特別委員会
- 24日 第4回臨時会

### 随感随筆

野や山や里に草花が咲き乱れ、田畑も色とりどりの色彩を織りなす観光季節の到来となりました。

今回の定例会から一般質問において「一問一答」を試験的に取り入れました。従来の質問は、再々質問までであったのですが、6分以内なら何度でも質問できるようになりました。これは議会の活性化が狙いであり、継続するかどうかは、今後決まります。質問にたった議員からは「どの方式でも変わらない」「時間配分がつかめなかった」「焦点を定めるのが難しかった」などの意見がありました。総じて質疑応答ともに大きな混乱もなく終了しました。

今月は洞爺湖サミットが開催されます。この号を発行した頃には終わっています。この号を発行した頃には終わっています。地球温暖化や原油高騰などにより良い対策が講じられるよう祈念しています。



- (今村 記)
- 委員長 岩田浩志
  - 副委員長 金子益三
  - 委員 谷 忠
  - 今村辰義
  - 和田昭彦
  - 佐川典子

議会の様子を見にきてください！ 次回定例会は9月中旬頃の予定です。

発行/上富良野町議会 印刷/㈱上富印刷  
 〒071-0596 北海道空知郡上富良野町大町二二二  
 電話(0167)4951699 2 版(0167)4951699